投稿票

（1）記事区分：

（2）和文表題：

（3）英文表題：

（4）和文著者名：姓　名

（5）英文著者名：Mei SEI（姓は大文字）

（6）連絡対応著者の氏名と連絡先（所在地，電話番号，メールアドレス）：

（7）和文所属機関名：

（8）英文所属機関名（原著論文のみ必須）：

＜注意＞

※このひな形は，「湿地研究」執筆要領に基づいて作成している．投稿原稿の作成に使用してもよい．使用する場合は，黄色マーカーで示した文を全て消去すること．要旨やAbstract，キーワード，Keywordsについても不要な場合は消去すること．

※英文表題は冒頭の一文字目と固有名詞の一文字目だけを大文字にすること．

※本文の和文フォントはMS明朝，英文フォントはTimes New Romanが望ましい．

※和文の場合，文中のカッコ「（）」と句読点「，」「．」は全角で半角スペース不要．

※仮名づかいは現代仮名づかいを基本とする．

※数字はアラビア数字を用い，3桁ごとにコンマを入れる．

※生物和名はカタカナを用い，報文の場合には初出箇所に学名（イタリック表記）を併記すること．

※単位は国際単位系（SI単位）を用いる．SI単位と数値の間には半角スペースを入れること．

**要旨**

本研究は，　　．

**キーワード**：〇〇，〇〇

＜注意＞

※査読なし記事は，要旨およびキーワードは不要．

※要旨は400字以内とする．

※キーワードは5語程度．日本語・英語の別なく混在させて，アルファベット順で配列する．

**Abstract（英文要旨）**

We tested .

***Keyword****s*:

＜注意＞

※英文要旨およびキーワードは，原著論文のみ必須，その他査読付き記事は任意．査読なし記事は不要．

※300 words以内とする．

※英語キーワードは5つ程度．アルファベット順で配列する．

※英文で投稿する場合は事前に英文校閲（ネイティブスピーカーによる校閲）を必ず行い，英文校閲の証明書の提出を必須とする．「原著論文」の英文要旨については，同様の証明書の提出を求めることもある．

※原著論文，実践研究，総説，研究ノートの例（その他の記事の様式は，湿地研究を参照のこと）

本文

**1. はじめに**

　我々は，・・・・．

**2. 方法**

**2.1 〇〇**

**2.1.1 〇〇**

**3. 結果（結果および考察でも可）**

**3.1 〇〇**

**3.1.1 〇〇（必要であれば）**

※図表がカラーの場合，その該当ページの印刷代は著者負担となる．2015年9月時点で1項あたり25,000円（刊行時点で変わる可能性有）．

※図（写真を含む）および表は，本文中に組み込まず1つずつ別紙に書く．1つの表は1ページに印刷できる大きさとする．1ページを越える表については2つ以上に分割すること．図表は刷り上がり時の横幅寸法がほぼ7 cmまたは15 cmとなることを想定して，明瞭な原稿を提出すること．

※図と表はそれぞれ，Fig. 1，Table 1のように通し番号を付けて表記する．図と表にはタイトルと本文を読まなくても理解できる程度の説明文を付ける．本文が和文の「原著論文」については，図表のタイトルと説明文は原則として和文と英文を併記すること．本文が和文の「実践研究」，「研究ノート」，「総説」については，英文の併記は投稿者の任意とする．図表の本文挿入箇所を本文中に前後に空白行を入れたうえで，Fig.1　挿入箇所のように指示する．

**4. 考察（上記3で「結果および考察」とした場合は不要）**

**4.1 〇〇**

**4.1.1 〇〇（必要であれば）**

**5. おわりに（あるいは，結論，まとめ）**

**謝　辞**

**引用文献**

※引用文献リストは，和文・英文の文献を論文・単行本などの別なく混在させて，著者の姓の頭文字のアルファベット順に，また同一著者の場合は発行年順に並べ，本文の最後にまとめる．各文献は以下の例にしたがって記載する．可能な場合にはDOI（Digital Object Identifier）も併記する．ウェブサイトの場合には，URLと参照日を記す．

※以下は例，書籍，報告書などは執筆要領を参照のこと．

Hussain SA, Singh RK, Badola R (2008) An ecological survey of the Trans-Himalayan wetlands of the proposed Changthang Biosphere Reserve, India, for conservation planning. Biosphere Conservation, 9(1), 53-63.

野原精一・加藤秀男・高村典子・三上一（1999）十和田湖の水生植物の現状－1997年の調査結果から－，国立環境研究所研究報告，146，49-54．

○■▼△（印刷中）湿地の…の変化に関する研究，湿地研究．

**図（タイトルと説明文を含む）**

**表（タイトルと説明文を含む）**